

# 第2章3節 いまだに続く 福島原発事故の災害

2019年6月5日

グリーン連合

伴英幸(原子力資料情報室)

# これまでに扱ったテーマ

## 2016年版:

原発の全体的な問題点

## 2017年版:

第2章 6年が経過した福島

福島原発事故の被害者は今

福島第一原発の廃炉問題と安全確保

## 2018年版:

第2章 放射性物質と如何に付き合っていくか

福島の現状と健康問題

放射性廃棄物の現状と原発再稼働問題

私たちは放射性物質とどう付き合っていくか

# 2019版で取り上げたテーマ

1. 汚染水の海洋放出問題
2. 汚染土再生利用・埋立方針について
3. チェルノブイリの経験から  
福島のことを考える

【コラム】「たらちね」

震災後に開設した放射能測定所とクリニック

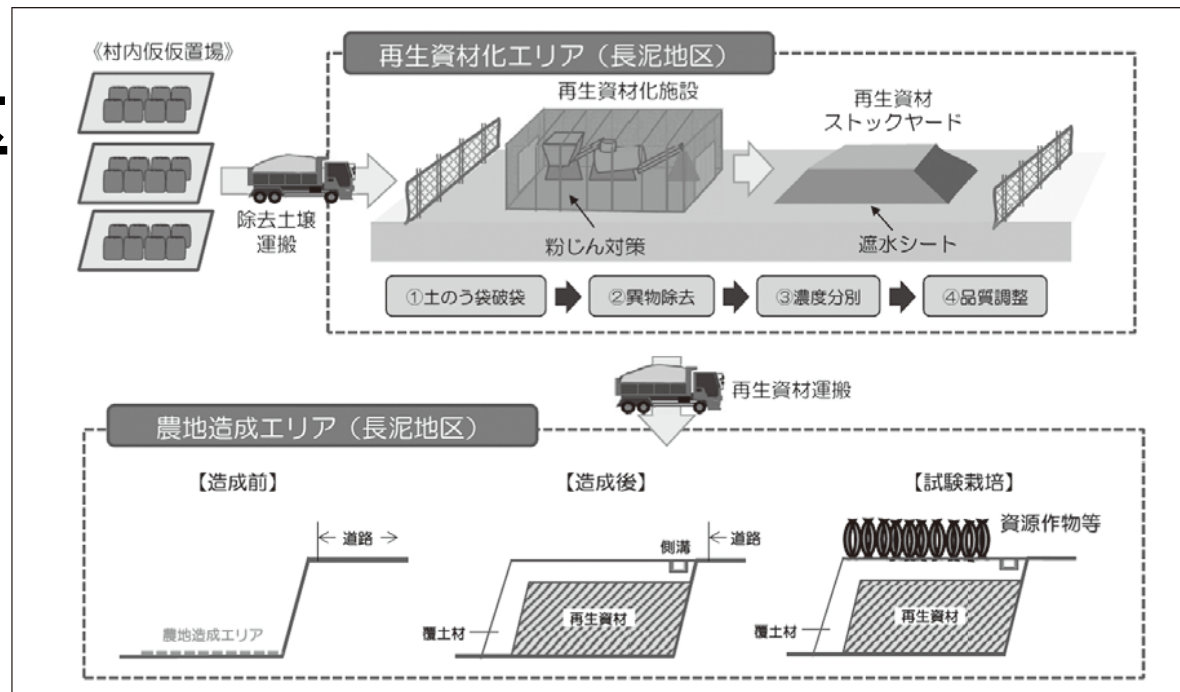
# 1.汚染水の海洋放出問題

- 溜まり続ける汚染水(100万トン)
- 海洋放出前提の経産省評価と審議
- 公聴会に圧倒的反対の声
- トリチウムだけではなかった汚染水
- 海洋放出は非現実的

⇒長期貯蔵含めて検討継続中

## 2.汚染土再生利用・埋立方針について

- 2,200万 $m^3$ に達する除染土
- 環境省：最終処分分量（福島県外での）を減らす目的で、全国の公共事業等で再利用する方針
- 実証事業に対する反対：二本松市、南相馬市  
進む実証事業：飯舘村長泥地区、那須町、東海村



# チェルノブイリの 経験から 福島のことを考える

1)チェルノブイリ事故  
では、事故3年目か  
ら増え始めている。

2)チェルノブイリ法  
避難すべき範囲、避  
難の権利のある範  
囲を定め、これらに  
対する支援がある

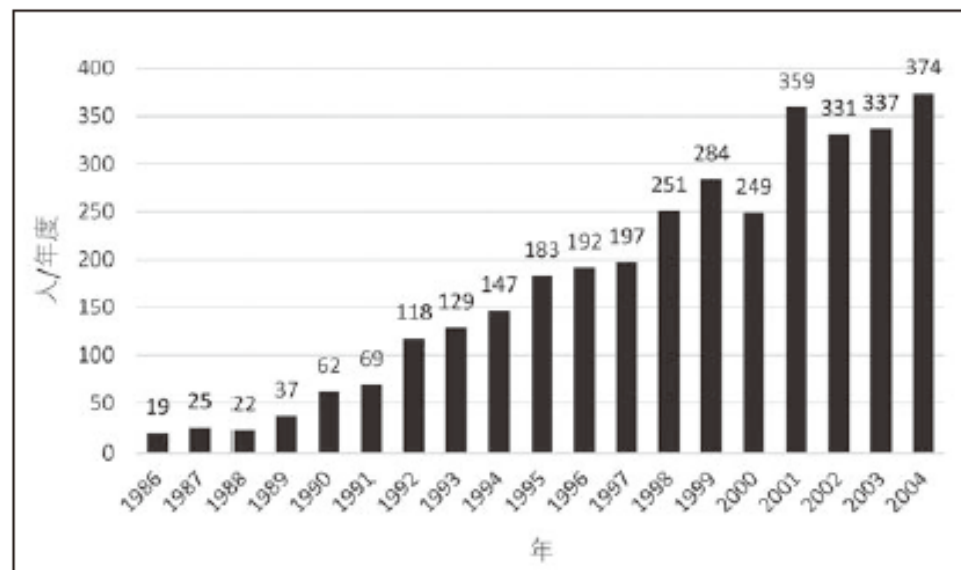


図2-3-5 ウクライナの小児甲状腺がん 年間発生数  
出典：20 Years after Chernobyl Catastrophe. Future Outlook: National

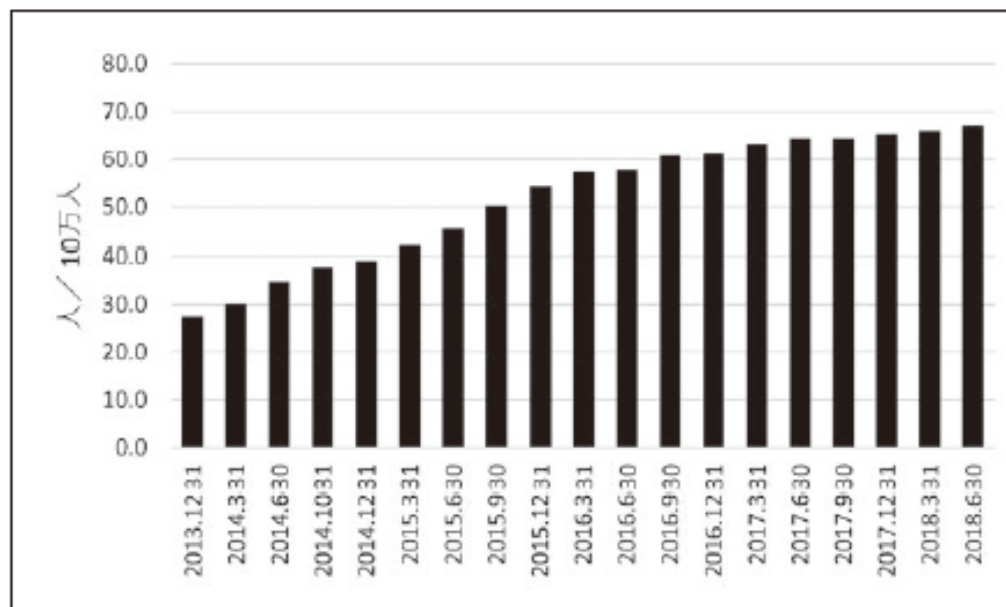


図2-3-6 福島の小児甲状腺がん発生率（事故当時18歳未満だった児童）